

「金融監督レポート」(4月号) 発刊のお知らせ

2010年4月16日、プロモントリー・フィナンシャル・ジャパン(東京都千代田区、代表取締役社長 藤井卓也)は、地域金融機関を中心とするお客様向けの情報サービスの一環として提供している「金融監督レポート」(月刊)2010年4月号(特集「経営管理の視点からみたコンプライアンス違反」)を発刊致しました。

「金融監督レポート」では、世界の金融監督当局等での経験豊富なプロモントリーの顧問陣が、毎月、金融機関経営に関連するテーマについて、リスク管理、法令順守等のポイントを分かりやすく解説しています。

2009年10月号の創刊以来、貸し渋り・貸し剥がし問題、マネー・ロンダリング等の課題、利益相反管理態勢、中小企業等円滑化法、米オバマ大統領提案の金融規制改革案、ダブルハットの問題等、金融規制に関して、タイムリー且つ金融機関の皆様に関心の高いテーマを取り上げてきました。

本レポートは、地域銀行向け特別情報サービス(有料)の一環として提供していますが、昨年10月の創刊号の貸し渋り・貸し剥がし問題については、ご要望が多く、例外的にその概要をホームページ上に公表しております。

「金融監督レポート」及び地域銀行向けサービスお問い合わせ・お申し込みは下記までご連絡ください。

金子 ykaneko@promontory.com
岡田 hokada@promontory.com
(電話) 03-3519-1200

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

角田 mkakuta@promontory.com
(電話) 03-35419-1200

###

プロモントリーについて

プロモントリー・フィナンシャル・ジャパン（以下、PFJ）は、米国ワシントンDCに本社を置くプロモントリー・フィナンシャル・グループ（以下、PFG）の東京オフィスです。2004年の開設以来、金融サービス業界が抱える諸問題の解決の支援に携わってきました。

PFGは2001年、CEOユージーン・ラドウィグ（元米国通貨監督庁長官、元ドイツ銀行副会長）によって設立され、世界の金融監督当局の高官経験者を結集し、政府および中小金融機関が直面する問題について具体的な解決策をアドバイスする国際的なネットワークを持つアドバイザリーファームです。ワシントンDCの本社以外に、ニューヨーク、サンフランシスコ等の米国主要都市のほか、東京、ロンドン、パリ、ミラノ、シンガポール、シドニー、トロントにオフィスを構えています。